



## 取扱説明書

本書では、VS-880 で録音 / 編集をしてソングを作成し、オリジナルオーディオ CD を作るまでの手順について説明しています。VS-880 クイック・スタート、および VS-880 V-XPANDED 取扱説明書と一緒にお読みください。

### 取扱説明書の表記について

この取扱説明書では、操作方法を簡潔に説明するために、次のように表記しています。

- [ ] で囲まれた英数字は、パネル上のボタンを表しています。  
例：[ SHIFT ] はシフト・ボタンを表しています。
- 併記されているパネルの表記は、[ SHIFT ] を押したときや状態によって機能がかわるボタンを表しています。そのときのボタンの機能を最初に示します。  
例：[ EDIT ( SOLO ) ] はマスター・ブロックの設定のときに使用します。  
例：[ SOLO ( EDIT ) ] はソロ機能のときに使用します。
- “ ” で囲まれた英数字は、VS-880 ディスプレイの表示を表しています。  
例：トラック・カット操作をするときは “ TrackCut? ” と表示されます。
- ( P.\*\* ) は本書の参照ページを示しています。
- ➡ はお使いの機器 ( VS-880 ) の取扱説明書の参照ページを示しています。

Zip は、米国 Iomega Corporation の登録商標です。

Iomega は、米国 Iomega Corporation の登録商標です。

© 2000 ローランド

本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

ローランド・ホームページ <http://www.roland.co.jp/>

# 目次

目次	2
<b>基本的な使いかた</b>	<b>3</b>
録音作業をはじめる前に	3
録音作業に必要なもの	3
VS-880 にオーディオ機器を接続する	3
電源を入れる	3
新しくソングを作る (ソング・ニュー)	4
多重録音のおおまかな流れ	4
楽器を接続する	4
メトロノームを鳴らす	4
トラックへ演奏を録音する	5
アンプ・シミュレーターをかけながら録音する (インサート)	6
別トラックへ録音する (オーバー・ダビング)	6
ミスしたところだけを録音しなおす (パンチ・イン/アウト)	6
デジタル信号を録音するには	7
マスター・データをつくる (ミックス・ダウン)	8
各トラックのバランスをとる (オート・ミックス)	8
複数トラックの演奏をステレオにまとめる (トラック・バウンシング)	9
コンプレッサーをかけながらトラック・バウンシングする (インサート)	10
不要な部分を削除する (トラック・カット)	11
<b>オーディオ CD をつくる</b>	<b>12</b>
オーディオ CD をつくる前に	12
オーディオ CD 作成作業に必要なもの	12
CDR-88RW-3 を接続する	12
オーディオ CD をつくる (CD-R ライト機能)	13
CD-R ディスクへソングを書き込むために	13
複数のソングをまとめて書き込む (トラック番号用マーク・ポイント)	13
曲間に無音部分を作る (ディスク・アット・ワンスとトラック・アット・ワンス)	14
CD-R ディスクへソングを書き込む	14
書き込んだソングを試聴する (CD プレーヤー機能)	16
ソングを追加して書き込む	17
<b>ソング・データを保存する (CD-R バックアップ)</b>	<b>18</b>
CD-R バックアップに必要なもの	18
CD-R ディスクへソングを保存する (CD-R バックアップ機能)	18
CD-R ディスクからソングを読み込む (CD-R リカバー機能)	19
CD-RW ディスクの内容を消去する	20
<b>資料</b>	<b>21</b>
Q&A	21
メッセージ一覧	22
用語集	24

# 基本的な使いかた

ここでは、VS-880 で録音 / 編集をしてソングを作成し、オリジナルオーディオ CD をつくる準備をするところまでの、おおまかな流れについて説明しています。VS-880 クイック・スタート、および VS-880 V-XPANDED 取扱説明書と一緒に読んでください。

## 録音作業をはじめる前に

VS-880 でソングをつくる前に、次のような注意点があります。

録音作業に必要なもの

VS-880 V-XPANDED CD (1 台)

内蔵 IDE ハード・ディスク

マスター・アウト用オーディオ機器、またはステレオ・ヘッドホン

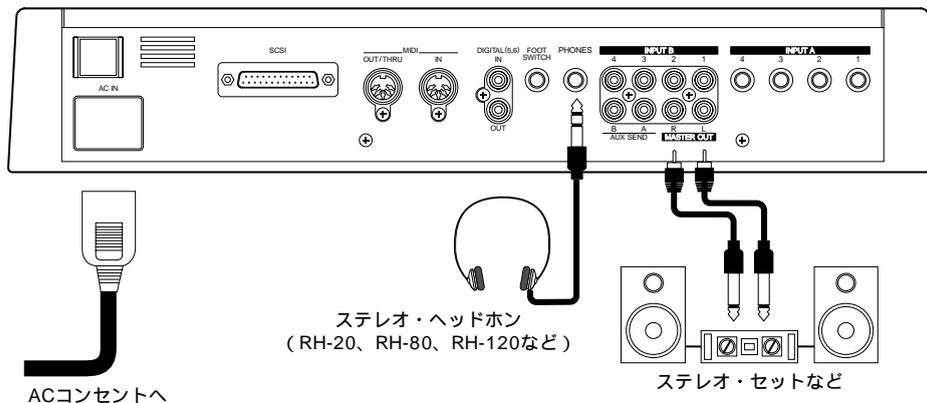
録音用機器 (エレクトリック・ギター、シンセサイザー、CD プレーヤーなど)、またはマイク

## VS-880 にオーディオ機器を接続する



➡ クイック・スタート (P.3)

他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。



## 電源を入れる



➡ クイック・スタート (P.4)

正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

この機器は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

1. 外部 SCSI 機器 (Zip ドライブなど) を接続している場合は、その機器の電源を入れます。
2. VS-880 の電源を入れます。
3. オーディオ機器の電源を入れます。
4. オーディオ機器のボリュームを適当なところまで上げます。

## 新しくソングを作る (ソング・ニュー)

- ➡ クイック・スタート (P.7)  
V-XPANDED 取扱説明書 (P.61)
1. “SNG Song New ?” と表示されるまで [SONG] を押します。
  2. [YES] を押します。
  3. “SNG SampleRate=” と表示されます。ここでは “44k” (44.1kHz) を選びます。44.1kHz 以外のサンプル・レートを選んだ場合、オリジナルオーディオ CD を作成することはできません。
  4. PARAMETER [▶▶] を押します。
  5. “SNG RecordMode=” と表示されます。好みのレコーディング・モードを選びます。
  6. [YES] を押します。“SNG Create NewSong ?” (新しくソングをつくりませんか?) と表示されます。
  7. [YES] を押します。“SNG Create New-Sure ?” (本当に新しくソングをつくりませんか?) と表示されます。
  8. [YES] を押します。“SNG STORE Current ?” (現在のソングを保存しますか?) と表示されます。
  9. 現在のソングを保存するときは [YES] を、そうでないときは [NO] を押します。新しくソングがつけられるとプレイ・コンディションに戻ります。

## 多重録音のおおまかな流れ

VS-880 の録音の基本手順は、アナログ MTR での手順とほぼ同じです。

また、エフェクト・エクспанション・ボード VS8F-1 を装着すれば、VS-880 内蔵のエフェクトをかけながら録音作業をすることもできます。

1. VS-880 に楽器、マイクなどを接続します。
2. 曲のテンポを決め、テンポマップを作成します。
3. メトロノームを鳴らしながら、ドラム、ベースなど、ソングの基本となるパートを録音します。
4. 基本パートの演奏を聴きながら、他のパート (エレクトリック・ギター、シンセサイザー、ボーカルなど) を録音します (オーバー・ダビング)。
5. ミスしたところだけを録音しなおします (パンチ・イン / アウト)。もちろん、気に入らないトラックすべてを録音しなおしてもかまいません。

## 楽器を接続する

- ➡ クイック・スタート (P.8)  
V-XPANDED 取扱説明書 (P.63)
1. VS-880 のマスター・フェーダーを絞ります。
  2. INPUT A ジャック、または INPUT B ジャックに、楽器やマイクを接続します。

## メトロノームを鳴らす

### テンポ・マップを作成する

- ➡ V-XPANDED 取扱説明書 (P.90)
1. “SYS Sync/Tempo ?” と表示されるまで [SYSTEM] を押します。
  2. [YES] を押します。
  3. “SYS Syn:Tmap 1=” と表示されるまで、PARAMETER [▶▶] を押します。
  4. CURSOR [▶] を押すとカーソルが移動します。録音しようとするソングのテンポ、開始小節、拍子を設定します。
  5. [PLAY (DISPLAY)] を押します。プレイ・コンディションに戻ります。

## メトロノームの設定をする

➡ V-XPANDED 取扱説明書 (P.110)

1. “SYS System PRM ?” と表示されるまで [SYSTEM] を押します。
2. [YES] を押します。
3. “SYS MetroOUT=” と表示されるまで、PARAMETER [▶▶] を押します。
4. “INT” を選びます。
5. “SYS MetroMd=” と表示されるまで、PARAMETER [▶▶] を押します。
6. “Rec&Play” を選びます。
7. [PLAY (DISPLAY)] を押します。プレイ・コンディションに戻ります。

## トラックへ演奏を録音する

➡ クイック・スタート (P.8)

V-XPANDED 取扱説明書 (P.63)

1. ミキサー・モードはINPUT TRACK モードを選びます。
2. 録音したいトラックの [CH EDIT] を押します。
3. [SHIFT] を押しながら、トラック1の [Input/BUSS (CH EDIT)] を押します。
4. どの入力ソース (INPUT 1 ~ 4) を録音するか選びます。たとえば、INPUT 1 に楽器が接続されているときは “INPUT-1” となります。
5. [PLAY (DISPLAY)] を押します。プレイ・コンディションに戻ります。
6. INPUT SENS つまみで入力感度を調節します。
7. 録音したいトラックのトラック・ステータスを赤色に点滅させます。(録音待機状態)
8. [REC] を押します。
9. [PLAY] を押します。録音が始まります。メトロノームに合わせて演奏をはじめてください。
10. 録音が終わったら [STOP] を押します。

## リバーブをかけながら録音する (ループ)

➡ V-XPANDED 取扱説明書 (P.103)

### 入力側 (INPUT MIX) の設定

1. ミキサー・モードはINPUT MIX モードを選びます。
2. 入力ソースに対応したインプット・ミキサーの [CH EDIT] を押します。たとえば、INPUT1 ならばチャンネル1、DIGITAL IN (5、6) ならばチャンネル5と6になります。
3. [SHIFT] を押しながら、チャンネル1の [Input/BUSS (CH EDIT)] を押します。
4. PARAMETER [▶▶] を押します。“BUSS Sel=” と表示されます。
5. 録音したいトラックに対応した出力先のバスを選びます。たとえば、1&2トラックならば “1-2” になります。
6. [SHIFT] を押しながら、チャンネル7の [EFFECT-1 (CH EDIT)] を押します。“EFFECT1=” と表示されます。
7. PARAMETER [▶▶] を押すと表示が変わります。必要に応じて、エフェクト1・センド・レベルとエフェクト1・パンを調整してください。

### 録音側 (TRACK MIX) の設定

8. [SELECT] を押して、ミキサー・モードを TRACK MIX モードに切り換えます。
9. 録音したいトラックの [CH EDIT] を押します。
10. [SHIFT] を押しながら、チャンネル1 [Input/BUSS (CH EDIT)] を押します。
11. PARAMETER [▶▶] を押します。“BUSS Sel=” と表示されます。
12. マスター・アウトからモニターできるように “MIX” を選びます。

### マスター・ブロックの設定

13. “MST EFF1 RTN to=” と表示されるまで、[EDIT (SOLO)] を押します。
14. 録音したいトラックに対応した出力先のバスを選びます。たとえば、1&2トラックならば “1-2” になります。
15. PARAMETER [▶▶] を押すと表示が変わります。必要に応じて、エフェクト1・リターン・レベルとエフェクト1・リターン・バランスを調整してください。

### エフェクトの設定

16. “EFF EFFECT-1 PRM?”と表示されるまで、[EFFECT] を押します。
17. [YES] を押します。
18. エフェクト 1 を選びます。“A00 RV:LargeHall” などを選ぶとよいでしょう。
19. [YES] を押します。

### 録音する

20. [PLAY (DIAPLAY)] を押します。プレイ・コンディションに戻ります。
21. 「トラックへ演奏を録音する (P.5)」にしたがって録音します。

## アンプ・シミュレーターをかけながら録音する (インサート)

➔ V-XPANDED 取扱説明書 (P.35)

1. ミキサー・モードは INPUT TRACK モードを選びます。
2. 録音したいトラックの [CH EDIT] を押します。
3. [SHIFT] を押しながら、トラック 1 の [Input/Buss (CH EDIT)] を押します。
4. どの入力ソース (INPUT 1 ~ 4) を録音するかを選びます。たとえば、INPUT1 に楽器が接続されているときは “INPUT-1” となります。
5. [SHIFT] を押しながら、トラック 7 の [EFFECT-1 (CH EDIT)] を押します。
6. エフェクトをどのようにインサートするかを選びます。たとえば、ステレオ録音するのならば、それぞれ “InsertL” “InsertR” となります。
7. “EQ/Eff PreIns=” と表示されるまで、PARAMETER [▶▶] を押します。
8. “On” を選びます。
9. “EFF EFFECT-1 PRM?” と表示されるまで、[EFFECT] を押します。
10. [YES] を押します。
11. 使用したいエフェクトを選びます。ここでは “A52 GA:JazChorus” などを選ぶとよいでしょう。
12. [YES] を押します。

13. [PLAY (DISPLAY)] を押します。プレイ・コンディションに戻ります。
14. 「トラックへ演奏を録音する (P.5)」にしたがって録音します。

## 別トラックへ録音する (オーバー・ダビング)

➔ クイック・スタート (P.10)

V-XPANDED 取扱説明書 (P.63)

1. ミキサー・モードは INPUT TRACK モードを選びます。
2. 録音したいトラックの [CH EDIT] を押します。
3. [SHIFT] を押しながら、チャンネル 1 の [Input/BUSS (CH EDIT)] を押します。“Input=” と表示されます。
4. どの入力ソース (INPUT 1 ~ 4) を録音するかを選びます。たとえば、INPUT1 に楽器が接続されているときは “INPUT1” となります。
5. [PLAY (DISPLAY)] を押します。プレイ・コンディションに戻ります。
6. 再生したいトラックのトラック・ステータス・インジケータを緑色に点灯させます (再生状態)。
7. 録音したいトラックのトラック・ステータス・インジケータを赤色に点滅させます (録音待機状態)。
8. 「トラックへ演奏を録音する (P.5)」にしたがって録音します。

## ミスしたところだけを録音しなおす (パンチ・イン/アウト)

➔ クイック・スタート (P.14)

V-XPANDED 取扱説明書 (P.64)

1. 録音しなおしたいトラックのトラック・ステータス・インジケータを赤色に点滅させます (録音待機状態)。
2. [PLAY] を押します。再生が始まります。
3. 録音しなおしたいところで [REC] を押します。
4. 録音を終わったら、もう一度 [REC] を押します。

## デジタル信号を録音するには

➔ V-XPANDED 取扱説明書 (P.72)

### デジタル接続に必要なもの

VS-880 V-XPANDED CD (1台)

CD プレーヤー、DAT レコーダー、MD プレーヤーなどのデジタル・オーディオ機器

デジタル接続用ケーブル (コアキシャル)

オプティカル~コアキシャル変換器 (必要ならば)

### デジタル機器を接続する

VS-880 の DIGITAL IN コネクタ (コアキシャル) とデジタル・オーディオ機器のデジタル出力コネクタを接続してください。



オプティカル・タイプの出力コネクタしか持たないデジタル機器を接続したいときは、市販の変換器が必要です。お客様相談センターへお問い合わせください。

### デジタル入力をソースとして選ぶ

1. “SYS System PRM ?” と表示されるまで、[SYSTEM] を押します。
2. [YES] を押します。
3. “SYS MasterClk=” と表示されるまで、PARAMETER [▶▶] を押します。
4. “DIGITL” を選びます。“Digital In Lock” と表示されます。
5. [PLAY (DISPLAY)] を押します。プレイ・コンディションに戻ります。

### 入力ソースを選ぶ

1. 録音したいトラックの [CH EDIT] を押します。
2. [SHIFT] を押しながら、チャンネル1の [Input/BUSS (CH EDIT)] を押します。
3. “DIGITAL-L” または “DIGITAL-R” を選びます。
4. [PLAY (DISPLAY)] を押します。プレイ・コンディションに戻ります。

### CD プレーヤーとデジタル接続するために

V-XPANDED に CD-R ライト機能を追加すると、CD プレーヤーとのデジタル接続ができなくなります。そのままでは、CD プレーヤーからの出力を、DIGITAL IN コネクタを経由して録音することはできません。CD プレーヤーとデジタル接続したいときは、次のように操作してください。

1. “System PRM ?” と表示されるまで、[SYSTEM] を押します。
2. [YES] を押します。
3. “CD DigiREC On ?” と表示されるまで、PARAMETER [▶▶] を押します。
4. [YES] を押します。“Obey Copyrights?” (著作権に従いますか?) と表示されます。
5. 取扱説明書裏の許諾条件をよくお読みになり、許諾条件に同意するならば [YES] を押します。“---Complete ---”(終了) と表示された後、プレイ・コンディションに戻ります。以後は CD プレーヤーとのデジタル接続ができるようになります。同意しないならば [NO] を押します。そのままプレイ・コンディションに戻ります。

### CD プレーヤーとのデジタル接続を禁止するには

CD プレーヤーとのデジタル接続を禁止したいときは、次のように操作してください。

1. “System PRM ?” と表示されるまで、[SYSTEM] を押します。
2. [YES] を押します。
3. “CD DigiREC Off ?” と表示されるまで、PARAMETER [▶▶] を押します。
4. [YES] を押します。“---Complete ---”(終了) と表示された後、プレイ・コンディションに戻ります。以後は CD プレーヤーとのデジタル接続はできなくなります。

## マスター・データをつくる (ミックス・ダウン)

CD-R ディスクへ書き込まれるのは、現在のソングの二つのトラック(ステレオ・トラック)の演奏データです。MASTER OUT (マスター・アウト)ジャックや PHONES (フォーンズ)ジャックで聴くことのできる演奏データではありません。このため、次のような注意点があります。

### トラック・バウンシング

VS-880 で指定した二つのトラックそれぞれを L トラック / R トラックとして、CD-R ディスクへ書き込みます。まだミックス・ダウンしていない演奏データは、オーバー・ダビングを繰り返すなどして、ステレオ・トラックにトラック・バウンシングしてください (P.9)。

### ミキシング

再生時にミキサーを調整しても、その内容は CD-R ディスクへは記録されません。たとえば通常の演奏において、フェード・イン/アウトをマスター・フェーダーでコントロールしていたとしても、CD-R ディスクへ書き込むときにはその内容は反映されず、カット・イン/カット・アウトのように聴こえてしまうこととなります。したがって、あらかじめイコライザーやレベル、パンなども調整しながらトラック・バウンシングするようにしてください。あらかじめオート・ミックスを設定しておけば、トラック・バウンシングの操作は簡単になります。

### エフェクト

再生時に有効になるエフェクトは CD-R ディスクへは記録されません。たとえば、通常の演奏において、各トラックの出力にリバーブやディレイをかけていたとしても、CD-R ディスクへ書き込むときにはその内容は反映されず、エフェクトがかかっていないように聴こえてしまうこととなります。したがって、あらかじめエフェクトをかけながらトラック・バウンシングするようにしてください (P.13)。

### V トラック

トラック・バウンシングされた演奏データが録音されている V トラックを選び、[PLAY] を押したときに、その演奏データを聴くことができるようにしてください。

## 各トラックのバランスをとる (オート・ミックス)

➡ V-XPANDED 取扱説明書 (P.17)

フェード・イン/アウトのタイミングや、エフェクトのセンド・レベルなどを、オート・ミックスとしてあらかじめ記録しておけば、トラック・バウンシングするときに実際にフェーダーを操作したりする手間を省くことができます。

### 音質を調整する (イコライザー)

➡ クイック・スタート (P.15)

V-XPANDED 取扱説明書 (P.67)

1. イコライザーを調整したいトラックの [CH EDIT] を押します。
2. [SHIFT] を押しながら、トラック 3 の [EQ Low (CH EDIT)] を押します。
3. CURSOR [▶] または PARAMETER [▶▶] を押すと表示が変わります。必要に応じてイコライザーのゲインと基準周波数、Q (変化の鋭さ) を調節してください。

#### メモ

各トラックのイコライザーの調整が終わったら、ミキサーの設定をシーンに登録しておくことをお奨めします。

➡ V-XPANDED 取扱説明書 (P.51)

4. [SCENE] を押します。
5. 登録したい番号の [LOC] を押します。たとえば、シーン 1 に登録したいときは、[LOC 1/5] を押します。

### 音量と定位を調整する (レベル/パン)

➡ V-XPANDED 取扱説明書 (P.18)

1. [SCENE] を押しながら [SELECT] を押します。  
[SELECT] インジケーターが点滅します。
2. オート・ミックスしたい時刻へ移動します。
3. [SCENE] を押しながら、[REC] を押します。
4. オート・ミックスを記録するトラックのフェーダーとパンつまみを調整します。
5. [PLAY] を押します。
6. トラックの演奏を聴きながら、トップ・パネルの各フェーダー、各 PAN つまみを調整します。
7. ミックスが終わったら [STOP] を押します。

## 複数トラックの演奏をステレオにまとめる (トラック・バウンシング)

➡ V-XPANDED 取扱説明書 (P.67)

CD-Rディスクへ書き込みをおこなうためのマスター・トラック (書き込み元のトラック) は、書き込み時に指定することができます。通常は以下のトラックの演奏データが書き込まれるようになっていきますので、これらのトラックをマスター用として空けておくことをお奨めします。

レコーディング・モード	L トラック	R トラック
MAS	5	6
MT1	7	8
MT2	7	8
LIV	7	88

## リバースをかけながらトラック・バウンシングする (ループ)

➡ V-XPANDED 取扱説明書 (P.107)

### 再生トラックの設定

1. ミキサー・モードは INPUT TRACK モードを選びます。
2. 再生したいトラックの [CH EDIT] を押します。
3. PARAMETER [◀] [▶] を操作して、“MIX Sw=” と表示させます。
4. MIX バスへの信号の送りかたを選びます。たとえば、チャンネル・フェーダーで音量を調整するときは “PstFade” となります。
5. [SHIFT] を押しながら、チャンネル7 の [EFFECT-1 (CH EDIT)] を押します。“EFFECT1=” と表示されます。
6. MIX バスへの信号の送りかたを選びます。たとえば、チャンネル・フェーダーでエフェクトへの送り量を調整するときは “PstFade” となります。
7. PARAMETER [▶▶] を押すと表示が変わります。必要に応じて、エフェクト1・センド・レベルとエフェクト1・パンを調整します。
8. トラック・バウンシングしたいすべてのトラックについて、手順1～7を繰り返します。

### 録音トラックの設定

9. 録音したいトラックの [CH EDIT] を押します。レコーディング・モードが MAS のときはトラック 5&6 を、MT1 / MT2 / LIVE のときはトラック 7&8 を、それぞれ録音したいトラックとすることをお奨めします。

10. [SHIFT] を押しながら、チャンネル1 の [Input/BUSS (CH EDIT)] を押します。“Input=” と表示されます。

11. 入力ソースを選びます。たとえば、MIX バスの信号を録音するときは “MIX-L” または “MIX-R” となります。

### マスター・ブロックの設定

12. “MST EFF1 RTN to=” と表示されるまで、[EDIT (SOLO)] を押します。
13. エフェクト1のリターン先を選びます。たとえば、MIX バスへ返すときは “MIX” を選びます。
14. PARAMETER [▶▶] を押すと表示が変わります。必要に応じて、エフェクト1・リターン・レベルとエフェクト1・バランスを調整します。

### エフェクトの設定

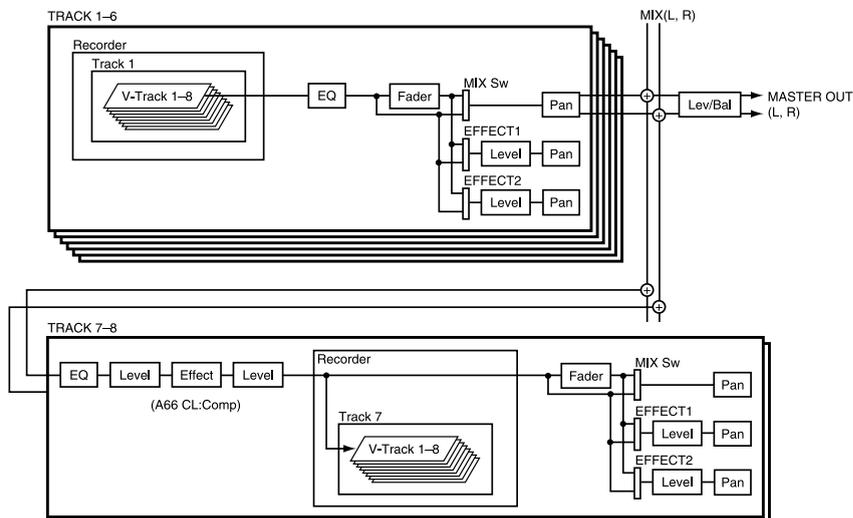
15. “EFF EFFECT-1 PRM?” と表示されるまで、[EFFECT] を押します。
16. [YES] を押します。
17. エフェクト1を選びます。“A00 RV:LargeHall” などを選ぶとよいでしょう。
18. [YES] を押します。

### 録音する

19. [PLAY (DIAPLAY)] を押します。プレイ・コンディションに戻ります。
20. 再生したいトラックのトラック・ステータス・インジケータを緑色に点灯させます (再生状態)。
21. 録音したいトラックのトラック・ステータス・インジケータを赤色に点滅させます (録音待機状態)。
22. 「トラックへ演奏を録音する (P.5)」にしたがって録音します。

## コンプレッサーをかけながらトラック・バウンシングする（インサート）

録音済みのトラックをミックスしたものにエフェクトをインサートし、その音を別トラックへ録音する設定について説明します。ソングを録音したあとで、ソング全体にコンプレッサーをかけ、トータルな音量を見ながらトラック・バウンシングするときなどに有効です。



### 再生トラックの設定

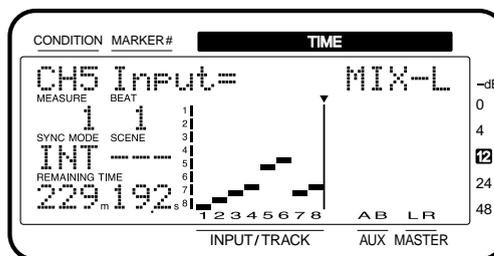
1. ミキサー・モードはINPUT TRACK モードを選びます。
2. 再生したいトラックの【CH EDIT】を押します。
3. PARAMETER [◀▶] を操作して、“MIX Sw=”と表示させます。
4. MIX バスへの信号の送りかたを選びます。たとえば、チャンネル・フェーダーで音量を調整するときは“PstFade”となります。
5. トラック・バウンシングしたいすべてのトラックについて、手順 1 ~ 4 を繰り返します。

### トラックの設定

6. L トラックとして録音したいトラックの【CH EDIT】を押します。レコーディング・モードが MAS のときはトラック 5 を、MT1 / MT2 / LIVE のときはトラック 7 を選ぶことをお奨めします。
7. 【SHIFT】を押しながら、チャンネル 1 の【Input/BUSS (CH EDIT)】を押します。“Input=”と表示されます。
8. 入力ソースを選びます。たとえば、MIX バスの信号を録音するときは“MIX-L”となります。
9. 【SHIFT】を押しながら、チャンネル 7 の【EFFECT-1 (CH EDIT)】を押します。
10. MIX バスの L 側にエフェクトをインサートします。“InsertL”を選びます。
- 11.“EQ/EffPrelns=”と表示されるまで、PARAMETER [▶▶] を押します。

12. エフェクトをインサートして録音できるようにします。“On”を選びます。

13. R トラックとして録音したいトラックについて、手順 6 ~ 12 を繰り返します。ただし、手順 8 では“MIX-R”、手順 10 では“InsertR”となります。



### エフェクトの設定

- 14.“EFF EFFECT-1 PRM?”と表示されるまで、【EFFECT】を押します。
- 15.【YES】を押します。
16. エフェクト 1 を選びます。“A66 CL:Comp”などを選ぶとよいでしょう。
- 17.【YES】を押します。

### 録音する

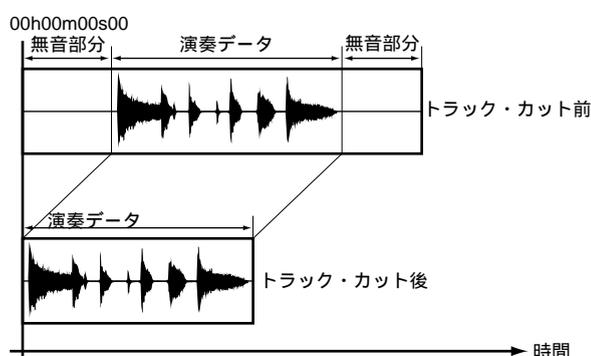
- 18.【PLAY (DIAPLAY)】を押します。プレイ・コンディションに戻ります。
19. 再生したいトラックのトラック・ステータス・インジケータを緑色に点灯させます（再生状態）。

20. 録音したいトラックのトラック・ステータス・インジケータを赤色に点滅させます（録音待機状態）。
21. 「トラックへ演奏を録音する（P.5）」にしたがって録音します。

## 不要部分を削除する（トラック・カット）

➡ V-XPANDED 取扱説明書（P.83）

トラック・バウンシングしたソング・データは、そのトラックの“00h00m00s00”からソングの終わり（ソング・エンド）までが、CD-R ディスクへ書き込まれます。そのため、演奏の前後で無音部分があったりする場合、CD-R ディスクの容量を無駄に消費してしまいます。これを避けるために、不要部分は削除してください。



## CD-R ディスクへ書き込みたい部分を選ぶ

トラック・カットの作業を簡単におこなうため、必要な範囲を選び出し、わかりやすいようにロケート・ポイントへ登録します。

1. 書き込みをはじめたい時刻へ移動します。
2. [LOC 1/5] を押します。ロケート・ポイント 1 に時刻が登録されます。
3. 書き込みを終えたい時刻へ移動します。
4. [LOC 2/6] を押します。ロケート・ポイント 2 に時刻が登録されます。

## 演奏後の不要部分を削除する

1. “Track Cut?” と表示されるまで、[TRACK] を押します。
2. [YES] を押します。
3. CD-R ディスクへ書き込みたいトラック（L 側）の [SEL (CH EDIT)] を押します。
4. CD-R ディスクへ書き込みたい V トラック（L 側）を選びます。
5. CD-R ディスクへ書き込みたいトラック（R 側）の [SEL (CH EDIT)] を押します。

6. CD-R ディスクへ書き込みたい V トラック（R 側）を選びます。
7. PARAMETER [▶▶] を押します。“TRK St=” と表示されます。
8. [LOC 2/6] を押します。
9. PARAMETER [▶▶] を押します。“TRK End=” と表示されます。
10. [SHIFT] を押しながら、[SONG END (FF)] を押します。
11. PARAMETER [▶▶] を押します。“Track Cut OK?” と表示されます。
12. [YES] を押します。トラック・カットが終了すると、プレイ・コンディションに戻ります。

## 演奏前の不要部分を削除する

1. “Track Cut?” と表示されるまで、[TRACK] を押します。
2. [YES] を押します。
3. CD-R ディスクへ書き込みたいトラック（L 側）の [SEL (CH EDIT)] を押します。
4. CD-R ディスクへ書き込みたい V トラック（L 側）を選びます。
5. CD-R ディスクへ書き込みたいトラック（R 側）の [SEL (CH EDIT)] を押します。
6. CD-R ディスクへ書き込みたい V トラック（R 側）を選びます。
7. PARAMETER [▶▶] を押します。“TRK St=” と表示されます。
8. [ZERO] を押します。
9. PARAMETER [▶▶] を押します。“TRK End=” と表示されます。
10. [LOC 1/5] を押します。
11. PARAMETER [▶▶] を押します。“Track Cut OK?” と表示されます。
12. [YES] を押します。トラック・カットが終了すると、プレイ・コンディションに戻ります。

### ⚠️ ご注意!

CD-R ディスクへ書き込まれる演奏データは、ハード・ディスクに保存されているものではありません。トラックに現在記録されている演奏データです。必要に応じてソング・ストアの操作をしてください。

➡ V-XPANDED 取扱説明書（P.74）

# オーディオ CD をつくる

ここでは、「基本的な使いかた」で作成したソング・データを、実際に CD-R ディスクへ書き込み、記録内容を確認（試聴）する手順を説明しています。

## オーディオ CD をつくる前に

VS-880 でソングをつくる前に、次のような注意点があります。

### オーディオ CD 作成作業に必要なもの

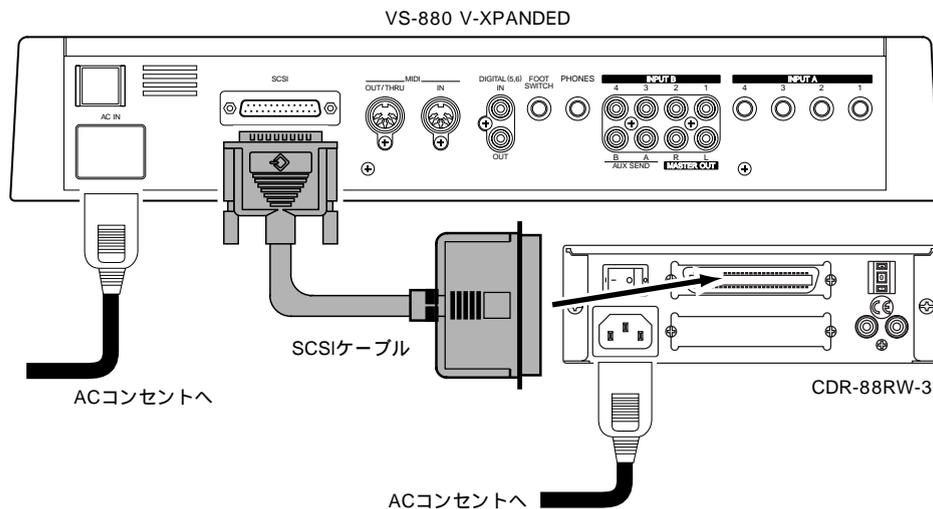
- VS-880V-XPANDED CD (1台)
- CDR-88RW-3 (1台)
- 内蔵 IDE ハード・ディスク
- CD-R (Compact Disc-Recordable) 空ディスク
- マスター・アウト用オーディオ機器、またはステレオ・ヘッドホン

## CDR-88RW-3 を接続する

➡ V-XPANDED 取扱説明書 (P.132)

### ご注意!

他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。



1. CDR-88RW-3 の電源を入れます。
2. VS-880 の電源を入れます。
3. オーディオ機器の電源を入れます。
4. オーディオ機器のボリュームを適当なところまであげます。

## オーディオ CD をつくる (CD-R ライト機能)

VS-880 の任意のふたつのトラック (ステレオ・トラック) の演奏データを、CD-R ディスクへ書き込みます。

### CD-R ディスクへソングを書き込むために

CD-R ライト機能を実行すると、VS-880 はまず内蔵 IDE ハード・ディスクに CD-R 用のイメージ・データ・ファイルを作成し、次にそのイメージ・データを CD-R ディスクへ書き込むという動作をします。そのため、内蔵 IDE ハード・ディスクには、イメージ・データ・ファイルを作成するための十分な空き容量が必要です。

#### メモ

パーティションの設定に関わらず、イメージ・データ・ファイルには内蔵 IDE ハード・ディスクのすべての空き容量が充てられます。また、イメージ・データ・ファイルは、CD-R ディスクへの書き込み終了後、自動的に消去されます。

#### 注意!

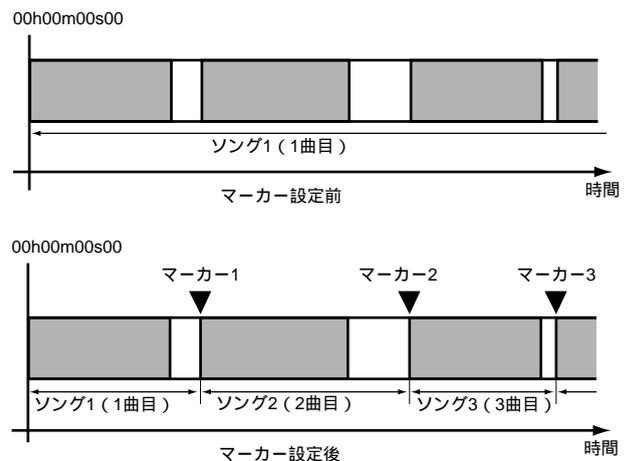
CD-RW ディスクにオーディオを書き込んだときは、一般の CD プレーヤーで再生すること(聴くこと)はできません。このときは、VS-880 の CD プレーヤー機能 (P.16) で試聴することができます。

#### 注意!

ファイナライズされている CD-RW ディスク、またはソング・データがバックアップされている CD-RW ディスクへはオーディオを書き込むことはできません。「CD-RW ディスクの内容を消去する」(P.20) にしたがひ、あらかじめディスクを空にしておいてください。

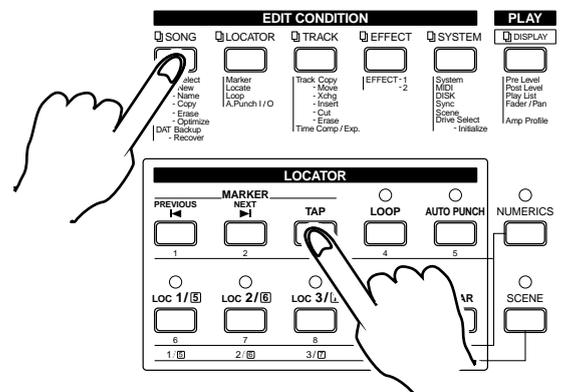
### 複数のソングをまとめて書き込む (トラック番号用マーク・ポイント)

複数のソングを同一トラックに並べておくことによって、それらのソングをまとめて CD-R ディスクへ書き込むことができます。このとき、あらかじめトラック番号用のマーク・ポイントを曲の境に設定しておくことによって、一般のオーディオ CD のようなトラック番号を、CD-R88RW-3 で作成するオーディオ CD へ書き込むことができます。必要に応じて、次のように操作します。



### 曲の境を決める (トラック番号)

1. ソングを聴きながら、トラック番号を付けたい時刻へ移動します。必要に応じて、プレビュー機能やスクラブ機能を使うことをお奨めします。
- V-XPANDED 取扱説明書 (P.76)
2. [SONG] を押しながら、[TAP] を押します。現在時刻にトラック番号用のマーク・ポイントが付きます。トラック番号用マーク・ポイントは、その末尾に “+” が表示されます。



#### 注意!

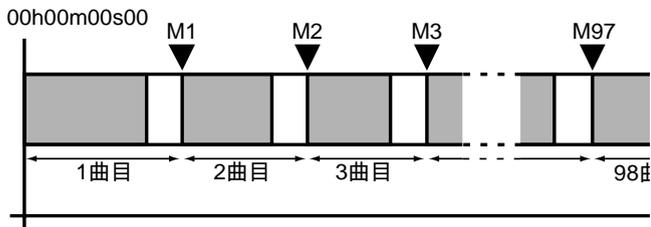
ソングの先頭 (“00h00m00s00”) から 4 秒間は、トラック番号用のマーク・ポイントは設定できません。

## 注意!

オーディオ CD の規格により、1 曲の長さは 4 秒以上必要です。このため、4 秒以内に二つ以上のトラック番号用マーク・ポイントを設定しようとすると、“Can't SetMarker”（マーク・ポイントを設定できません）と表示され、実行することができません。トラック番号用のマーク・ポイントは、4 秒以上の間隔をあけて設定してください。

## 注意!

オーディオ CD の規格により、1 枚のオーディオ CD には 99 曲まで保存することができます。また“00h00m00s00”は、特にトラック番号用のマーク・ポイントを設定しなくても、必ず 1 曲目となります。そのため、トラック番号用のマーク・ポイントは 98 個まで付けることができます。



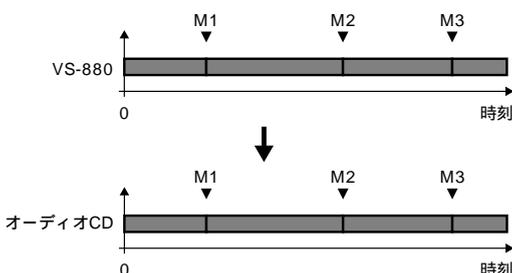
3. [SONG] を押しながら [PREVIOUS] を押すと、一つ前のトラック番号用マーク・ポイントへ移動します。[SONG] を押しながら [NEXT] を押すと、一つ後のトラック番号用マーク・ポイントへ移動します。トラック番号の時刻を確認してください。

## 曲間に無音部分を作る (ディスク・アット・ワンスと トラック・アット・ワンス)

オーディオ CD を作成するときには、その曲間の扱いを選ぶことができます。

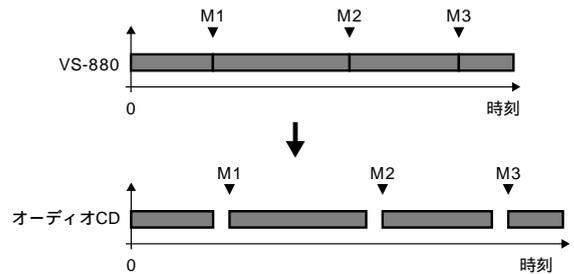
### ディスク・アット・ワンス

ソング・データと、ソング・データに付けられたトラック番号用マークが、そのまま CD-R ディスクへ書き込まれます。ただし、ディスク・アット・ワンスで書き込まれた CD-R ディスクへは、ソング・データを追加して書き込むことはできません（ファイナライズを実行したときと同じ状態）。



### トラック・アット・ワンス

ソング・データに付けられたトラック番号用マークの前に、自動的に約 2 秒の無音部分が追加されて CD-R ディスクへ書き込まれます（ソングを追加して書き込んだときと同じ状態）。トラック・アット・ワンスで書き込まれた CD-R ディスクへは、ソング・データを追加して書き込むことができます。



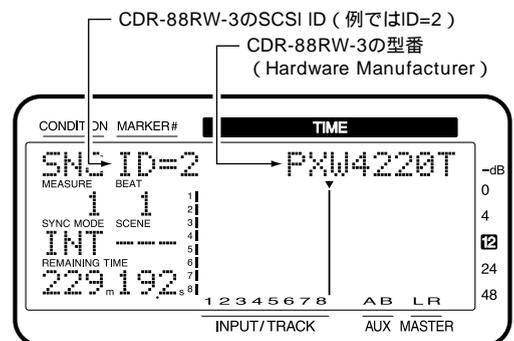
## メモ

例えば、メドレー曲にトラック番号を付けたいときなどは、ディスク・アット・ワンスが適しています。トラック・アット・ワンスでは、トラック番号用マークの位置に約 2 秒の無音部分が追加されてしまうため、曲が断ち切られたような感じで再生されてしまうからです。

CD-RW ディスクをお使いのときは、“Track at Once”を選んで書き込みを行うことはできません。

## CD-R ディスクへソングを書き込む

1. CDR-88RW-3 へ CD-R ディスクを入れます。
2. “SNG CD-R Write ?” と表示されるまで、[SONG] を押します。
3. [YES] を押します。“-Scanning CD-R -” (CD-R ドライブ検索中) と表示されます。VS-880 は接続されている CDR-88RW-3 の SCSI ID を検索し、次にその ID ナンバーを一定時間表示します。



4. 続いて “Disc at Once?” または “Track at Once?” と表示されます。PARAMETER [◀] [▶] でソングの書き込みかたを選び、[YES] を押してください。

## Track at Once (トラック・アット・ワンス)

曲間におよそ 2 秒ずつの無音部分を作ります。ディスクの容量が許す限り、ソングを追加して書き込むことができます。

## Disc at Once (ディスク・アット・ワンス)

曲間に無音部分を作しません。ただしそのディスクには、それ以上追記ができなくなります。

## 4-1 “Track at Once” を選んだときは、PARAMETER

[◀][▶] でファイナライズをするかどうかを選び、[YES] を押してください。

## メモ

VS-880 で作成したオーディオ CD を市販の CD プレーヤーで再生できるようにするために、TOC (Table Of Contents) を書き込みます。ファイナライズ操作を行ったオーディオ CD には、それ以上の追記ができなくなります。

Write w/o Fin.?

ファイナライズをせずにソングだけを書き込みます。

Write +Finalize

ソングを書き込んだ後でファイナライズします。

Finalize

ソングを書き込まずにファイナライズだけ行います。ファイナライズをせずにソングを書き込んだ CD-R ディスクを入れたときに選びます。

5. CD-R ディスクの L トラックへ書き込みたいトラックの [SEL (CH EDIT)] を押します。
6. CURSOR [▶] を押します。
7. CD-R ディスクの R トラックへ書き込みたいトラックの [SEL (CH EDIT)] を押します。
8. PARAMETER [▶▶] を押します。“CD Speed” と表示されます。TIME/VALUE ダイアルでソングを CD-R ディスクへ書き込むときの速度を選んでください。

SNG CD Speed × 1

CD Speed (CD スピード)

- × 4 : 4 倍速で書き込みます。
- × 2 : 倍速で書き込みます。
- × 1 : 等速で書き込みます。より信頼性が高くなります。

## 注意!

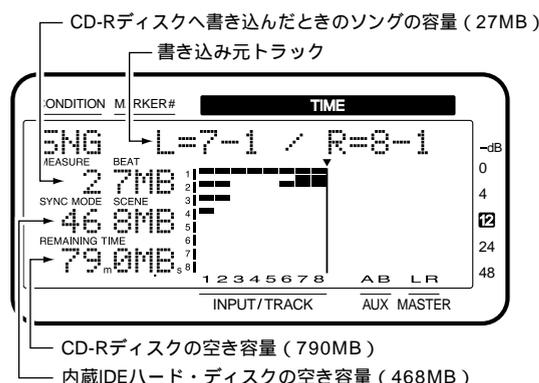
- CD-R ディスクをお使いのとき、ディスクによっては “× 2” や “× 4” に設定すると正常にバックアップできないことがあります。そのときは “× 1” に設定してください。

- CD-RW ディスクを入れたときは、自動的に “× 2” に設定されます。

## メモ

CD-RW ディスクにオーディオを書き込んだときは、一般の CD プレーヤーで再生することはできません。このときは VS-880 の CD プレーヤー機能で試聴することができます。

9. ディスプレイに次のように表示されます。それぞれの容量を確認してください。



MEASURE, BEAT 欄:

CD-R ディスクへ書き込んだときのソングの容量

SYNC MODE, SCENE 欄:

内蔵 IDE ハード・ディスクの空き容量

REMAINING TIME 欄:

CD-R ディスクの空き容量

## 注意!

「CD-R ディスクへ書き込んだときのソングの容量」が、「内蔵 IDE ハード・ディスクの空き容量」または「CD-R ディスクの空き容量」よりも大きいときは、CD-R ディスクへのソングの書き込みはできません。

## 注意!

「CD-R ディスクへ書き込んだときのソングの容量」は、必ずしもそのソングそのものの容量 ([SHIFT] + [SONG] を押したときに表示される容量) とは一致しません。これは、使用しているトラック数やレコーディング・モードの違いによるものです (→ V-XPANDED 取扱説明書 (P.117))。

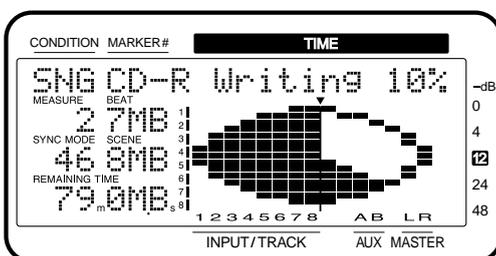
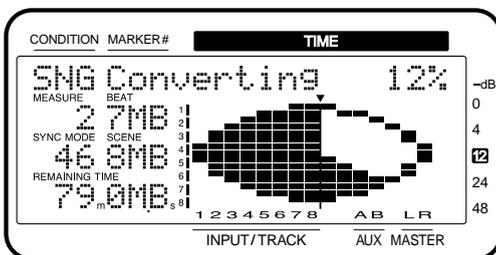
10. PARAMETER [▶▶] を押します。“SNG CD-R Write Sure?” (CD-R に書き込みますか?) と表示されます。

11. [YES] を押します。“SNG CD Track No.OK?” (トラック番号は設定しましたか?) と表示されます。

12. [YES] を押します。“Obey Copyrights?” (著作権に従いますか?) と表示されます。

## オーディオ CD をつくる

13. 取扱説明書裏の許諾条件をよくお読みになり、許諾条件に同意するならば [YES] を押します。CD-R ディスクへの書き込みが始まります。同意しないならば [NO] を押します。そのまま手順 2 の状態へ戻ります。



### “ Not 44.1k Song ! ” と表示されたら

ソングのサンプル・レートが 44.1kHz ではないので、CD-R ディスクへの書き込みができません。[YES] または [NO] を押すと手順 1 の状態へ戻ります。「新しくソングを作る (ソング・ニュー)」(P.4) をお読みください。

### “ CD-R Not Ready ! ” と表示されたら

CD-RW ドライブのローディング・トレイが空いていた、CD-R ディスクが入っていないなど、CD-R ドライブの準備ができていません。[YES] または [NO] を押すと手順 1 の状態へ戻ります。CD-R ドライブを確認して、もう一度手順 1 から操作してください。

14. 書き込みが正常に終わると、“ Write Another ? ” (別のディスクへも書き込みますか?) と表示されます。別の CD-R ディスクへ同じソング・データを書き込むときは、新しいディスクを CDR-88RW-3 へ入れ、[YES] を押します。手順 10 ~ 手順 14 が繰り返されます。[NO] を押すと手順 2 の状態へ戻ります。

## 書き込んだソングを試聴する (CD プレーヤー機能)

ソングを書き込んだばかりの CD-R ディスク (ファイナライズをおこなっていない CD-R ディスク) や、ソングが書き込まれた CD-RW ディスクは、市販の CD プレーヤーでは再生できません。書き込んだソングを確認 (試聴) するには、次のように操作します。



CD プレーヤー機能は、市販のオーディオ CD も再生することができます。



ディスクの内容は、VS-880 の MASTER OUT (マスター・アウト) ジャック、または PHONES (フォーンズ) ジャックで聴くことができます。CDR-88RW-3 の PHONES (フォーンズ) ジャック、あるいは AUDIO OUT (オーディオ・アウト) ジャックからは出力されません。

1. CDR-88RW-3 へ CD-R ディスク、または市販のオーディオ CD を入れます。
2. “ SNG CD Player ? ” と表示されるまで、[ SONG ] を押します。
3. [ YES ] を押します。
4. “ STORE Current ? ” (現在のソングを保存しますか?) と表示されます。現在のソングを保存しておきたいときは [ YES ] を、そうでないときは [ NO ] を押します。“ - Scanning CD-R - ” (CD-R ドライブ検索中) と表示されます。VS-880 は接続されている CDR-88RW-3 の SCSI ID を検索し、次にその ID ナンバーを一定時間表示します。CD-R ディスクの情報が表示されます。



### “ No Disc ” と表示されたら

CDR-88RW-3 にディスクが入っていません。[YES] または [NO] を押すと手順 1 へ戻ります。市販の CD ソフトウェア、またはすでに記録済みの CD-R ディスクを入れ、もう一度操作してください。

## “ Blank Disc ” と表示されたら

オーディオが書き込まれていない CD-R ディスクに対して CD プレーヤー機能を実行しようとしています。[YES] または [NO] を押すと手順 1 へ戻ります。市販のオーディオ CD、またはすでに記録済みの CD-R ディスクと入れ換え、もう一度操作してください。

5. 次のボタン、つまみ、フェーダーだけが有効になります。ディスクの内容を試聴してください。
- [ZERO]: 1 曲目の先頭へ移動します。
- [REW]: ボタンを押している間だけ早戻しします。
- [FF]: ボタンを押している間だけ早送りします。
- [STOP]: 停止します。
- [PLAY]: 現在位置から再生をはじめます。
- [PREVIOUS]: 前の曲へ戻ります。
- [NEXT]: 次の曲へ進みます。
- マスター・フェーダー**: 全体の音量を調整します。
- PHONES (フォーンズ) つまみ**:  
ヘッドホンの音量を調整します。

## 注意!

ボタン、つまみ、フェーダーの反応が遅いことがあります。これは故障ではありません。たとえば [PLAY] や [NEXT] を押したときなどは、音が出るまでに約 5 秒以上かかります。

## 注意!

トランスポート・コントロール・ボタンは CD のコントロールに使われます。VS-880 のソングのコントロールではありません。また、このときに聴こえる内容を VS-880 で録音することはできません。

6. 試聴が終わったら [STOP] を押します。
7. [CANCEL] を押します。前ページの手順 2 の状態に戻ります。または [SONG] を押しても手順 2 へ戻ることができます。

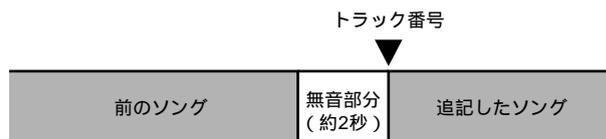
## 注意!

ファイナライズをおこなっていないディスクを試聴するときは、そのソングの終わり部分の約 0.5 秒は再生できません。ファイナライズを実行すると聴けるようになります。

## ソングを追加して書き込む

ファイナライズをおこなっていない CD-R ディスクへは、その空き容量が許す限り、ソングの追記ができます。「CD-R ディスクへソングを書き込む」(P.14) の操作を繰り返してください。

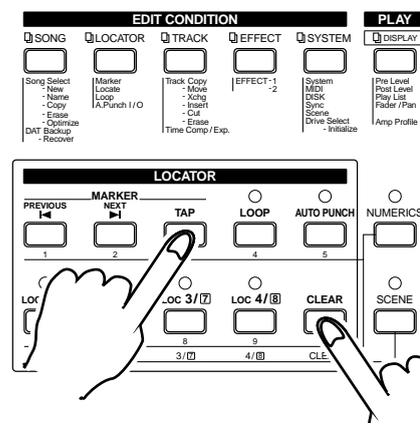
このとき、前のソングとの間には約 2 秒間の無音部分ができます。また、トラック番号が自動的に記録されます。



## トラック番号用マーク・ポイントを削除するには

トラック番号用マーク・ポイントも、通常のマーク・ポイントと同じ方法で削除できます。

1. 削除したいマーク・ポイントへ移動します。
2. [CLEAR] を押しながら、[TAP] を押します。



# ソング・データを保存する (CD-R バックアップ)

VS-880 の内蔵ハード・ディスクに録音されているソング・データを、CD-R ディスク / CD-RW ディスクに保存できます。この操作をバックアップと呼びます。逆に、バックアップしたソング・データを内蔵ハード・ディスクへ読み込む操作をリカバーと呼びます。バックアップされるソング・データには、すべてのVトラックの演奏データの他、ソングに設定されているロケート・ポイント、マーク・ポイント、シーンの設定なども含まれます。

CD-R バックアップでは、ソング・データを保存用のデータ形式に変換してバックアップします。したがって、ソング・データをそのまま再生することはできません。必ずカレント・ドライブにソングを復元する操作が必要です。また、1枚のディスクへは保存できないソングをコピーするときは、ディスクの容量にしたがって分割して保存します。

- Zip ディスクに録音されているソング・データを、CD-R ディスク / CD-RW ディスクにバックアップすることはできません。
- CD-R ディスクにバックアップしたソング・データは書き換えることができません。そのため、完成版のソング・データなどのバックアップに適しています。
- すでにソング・データがバックアップされている CD-R ディスク / CD-RW ディスクへは、ソング・データを追加してバックアップすることはできません。ただし、CD-RW ディスクを使用しているときには、ディスクに保存されているソング・データを消去した後、新たにソング・データを保存することができます。
- もし正常にバックアップがおこなわれなかったためにデータが失われた場合、失われた記憶内容の復元については、補償も含めご容赦願います。また、CD-RW ドライブ (CDR-88RW-3) の性能や状態に関わらず、バックアップされたデータの保証はご容赦願います。

## CD-R バックアップに必要なもの

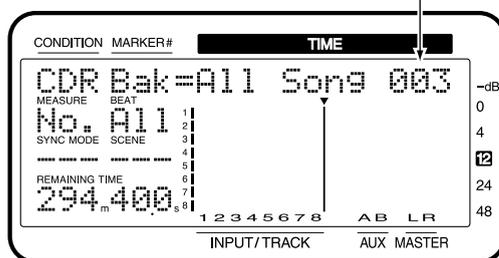
- VS-880 V-XPANDED CD (1台)
- CDR-88RW-3 (1台)
- 内蔵 IDE ハード・ディスク (HDP88 シリーズ)
- CD-R ディスク (空きディスク) または CD-RW ディスク

## CD-R ディスクへソングを保存する (CD-R バックアップ機能)

1. バックアップしたいソングが録音されているドライブ (内蔵 IDE ハード・ディスク) を、カレント・ドライブとして選びます。
2. CDR-88RW-3 ドライブへ CD-R ディスク (CD-RW ディスク) を入れます。
3. “CD-R Backup?” と表示されるまで、[SONG] を何回か押します。
4. [YES] を押します。“STORE Current?” (現在のソングを保存しますか) と表示されます。
5. 現在のソングを保存しておきたいときは [YES] を、そうでないときは [NO] を押します。デモ演奏が選ばれているときは [NO] を押してください。“CDR Bak=” と表示されます。
6. TIME/VALUE ダイアルで保存したいソングを選び、PARAMETER [▶▶] を押します。カレント・ドライブに含まれるすべてのソングをバックアップしたいときは “All” を選んでください。



カレント・ドライブ内の全曲数 (3曲)



7. “+Verify=” と表示されます。TIME/VALUE ダイアルを操作し、PARAMETER [▶▶] を押します。

SNG +Verify= On

+Verify (+ベリファイ)

“On” に設定すると、ソングをバックアップした後に、そのデータが正しく保存されているかどうかの確認を行います。

8. “CD Speed=”と表示されます。TIME/VALUE ダイアルを操作します。

SNG CD Speed × 1

CD Speed (CDスピード)

- × 4 : 4 倍速で書き込みます。
- × 2 : 倍速で書き込みます。
- × 1 : 等速で書き込みます。より信頼性が高くなります。

**注意!**

- CD-R ディスクをお使いのとき、ディスクによっては “× 2” や “× 4” に設定すると正常にバックアップできないことがあります。そのときは “× 1” に設定してください。
  - CD-RW ディスクを入れたときは、自動的に “× 2” に設定されます。
9. [YES] を押します。バックアップが実行されます。

**CD-RW ディスクをお使いのとき**

手順 2 で、すでにソング・データが保存されている CD-RW ディスクを入れたときは、以下のように操作します。

9-1 “Finalized CD!” または “Not Blank CD!” と表示されます。

9-2 [ENTER (YES)] を押してください。“CD-RW Erase?” と表示されます。

9-3 [YES] を押します。“CD-RW Erasing...” と表示され、CD-RW ディスクの内容が消去されます。CD-RW ディスクの内容を消去したくないときは [NO] を押してください。このときは、CD-RW ディスクが排出されますので、空きディスクを入れて [YES] を押してください。

9-4 CD-RW ディスクの内容が消去されると “Continue?” と表示されます。[YES] を押してください。ソング・データをバックアップせず、単にディスクの内容を消去したいだけのときは [NO] を押してください。(P.20 「CD-RW ディスクの内容を消去する」)

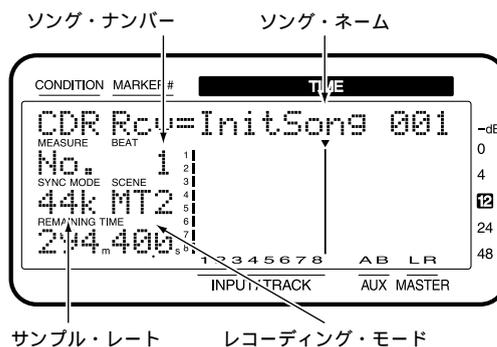
10. ソング・データの容量が多く、1 枚のディスクにバックアップできないときは、必要なディスクの枚数を確認するために、まずディスクが排出され “InsertDisc #” (# はディスクの順番) と表示されます。次のディスクを入れて [YES] を押してください。このとき、ディスクを入れた順番がわかるように、ディスクのラベルにディスク・ナンバーを書いておくことをおすすめします。

11. 複数のディスクに渡ってバックアップがおこなわれるときは、最後に “InsertDisc #” と表示されます。順番のとおりそれぞれのディスクをもう一度入れて、[YES] を押してください。

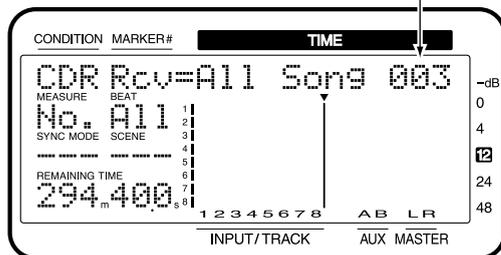
12. CD-R バックアップが終わるとプレイ・コンディションへ戻ります。

**CD-R ディスクからソングを読み込む (CD-R リカバー機能)**

- 読み込み先 (復元先) のドライブを、カレント・ドライブとして選びます。
- CDR-88RW-3 ドライブへ、ソングがバックアップされている CD-R ディスク (CD-RW ディスク) を入れます。
- “CD-R Recover?” と表示されるまで、[SONG] を何回か押します。
- [YES] を押します。“STORE Current?” (現在のソングを保存しますか) と表示されます。
- 現在のソングを保存しておきたいときは [YES] を、そうでないときは [NO] を押します。**デモ演奏が選ばれているときは [NO] を押してください。** “CDR Rcv=” と表示されます。
- TIME/VALUE ダイアルで保存したいソングを選び、PARAMETER [▶▶] を押します。カレント・ドライブに含まれるすべてのソングをリカバーしたいときは “All” を選んでください。



CDRバックアップされている全曲数 (3曲)



## ソング・データを保存する (CD-R バックアップ)

7. “CD Speed=”と表示されます。TIME/VALUE ダイアルを操作します。

SNG CD Speed × 1

### CD Speed (CD スピード)

ソングをディスクへからリカバーするときの速度を選びます。

- × 20 : 20 倍速でリカバーします。
- × 8 : 8 倍速でリカバーします。
- × 4 : 4 倍速でリカバーします。
- × 1 : 等速でリカバーします。より信頼性が高くなります。

### 注意!

- CD-R ディスクをお使いのとき、ディスクによっては“× 20”や“× 8”、“× 4”に設定すると正常にリカバーできないことがあります。そのときは“× 1”に設定してください。
  - CD-RW ディスクを入れたときは、自動的に“× 2”に設定されます。
  - “CD Speed”を4倍速や8倍速に設定しても、リカバーにかかる時間は単純に1/4、1/6にはなりません。これは、内蔵ハード・ディスクへの書き込み速度や、ディスクの読み取りエラーの発生頻度などによるものです。
8. [YES] を押します。
9. 手順6で“All”を選んだときは、“INIT\*\*\*:OK?”(ディスク・ドライブをイニシャライズしますか)と表示されます。“\*\*\*:”は、リカバー先ディスク・ドライブのIDナンバーとパーティション・ナンバーです。たとえば、内蔵ハード・ディスクのパーティション0へリカバーするときには、“IDE:0”と表示されます。
10. カレント・ドライブをイニシャライズしてからリカバーしたいときは[YES]を押します。この場合、カレント・ドライブに保存されているソング・データはすべて失われます。イニシャライズをせずにリカバーしたいときは[NO]を押してください。通常は[NO]を押すようにするとよいでしょう。
11. 読み込みが実行されます。複数のディスクに渡ってバックアップが行われているときは、ディスクが排出され、“Insert Disc #”( # はディスクの順番)と表示されます。次のディスクを入れて[YES]を押してください。
12. CD-R リカバーが終わるとプレイ・コンディションへ戻ります。

### CD-RW ディスクの内容を消去する

すでになんらかのデータが保存されている CD-RW ディスクには、オーディオやソング・データを書き込むことができません。(P.13、P.18)。新たにデータを書き込むためには、CD-RW ディスクに保存されている内容を以下の手順で消去します。

1. CDR-88RW-3 へ、消去したいCD-RW ディスクを入れます。
2. “CD-R Backup?”と表示されるまで、[SONG]を何回か押します。
3. [YES]を押します。“STORE Current?”(現在のソングを保存しますか)と表示されます。
4. 現在のソングを保存しておきたいときは[YES]を、そうでないときは[NO]を押します。デモ演奏が選ばれているときは[NO]を押してください。“CDR Bak=”と表示されます。
5. [YES]を押します。“Finalized CD!”または“Not BlankCD!”と表示されます。
6. [ENTER (YES)]を押します。“CD-RW Erase ?”と表示されます。
7. [YES]を押します。“CD-RW Erasing...”と表示され、CD-RW ディスクの内容が消去されます。
8. “Continue ?”と表示されたら[NO]を押します。

## Q & A

### Q. CDR-88RW-3 を購入しました。すぐに使用したいのですが？

- A. CDR-88RW-3 は CD-RW ドライブです。単体では使用できません。次のようなものを準備してください。
- VS-880 V-XPANDED CD
  - VS-880 内蔵用ハード・ディスク・ドライブ・ユニット (HDP88 シリーズ)
  - 楽器、マイク、CD プレーヤーなどの録音用機材
  - マスター・アウト用オーディオ機器、またはステレオ・ヘッドホン
  - CD-R ディスクなど

### Q. オリジナルのエフェクト・パッチを作成しています。CD-R ライト機能を追加するとエフェクト・パッチは消えてしまいますか？

- A. 消えません。エフェクト・パッチは、機能追加後もそのまま使用することができます。

### Q. 市販のオーディオ CD を DIGITAL IN コネクタから録音しようとしたら、“Can't REC CD!” と表示されたのですが？

- A. VS-880 V-XPANDED CD に CD-R ライト機能を追加すると、そのままではデジタル接続できなくなります。「デジタル信号を録音するには」(P.7)をお読みください。

### Q. CDR-88RW-3 以外の CD-R ドライブは使えないのですか？

- A. CDR-88RW-3 はローランド VS シリーズ用の CD-RW ドライブです。ローランドで指定した以外の CD-RW ドライブを使用することはできません。

### Q. CDR-88RW-3 は一般のパーソナル・コンピューターなどで使用できますか？

- A. 使用できます。CDR-88RW-3 はローランド VS シリーズ以外にも、パーソナル・コンピューターと接続して使用することができます。

### Q. どのようなディスクが使用できますか？

- A. 録音可能時間に関わらず、一般の CD-R / RW ディスクが使用できます。ただし、CDR-88RW-3 で書き込み確認ができていない CD-R / RW ディスクをお使いになることをお奨めします。詳しくは、CDR-88RW-3 の取扱説明書「推奨する CD-R / RW ディスク」をご参照ください。

### Q. ソング・データを Windows の .WAV ファイル形式で書き込むことはできますか？

- A. できません。CDR-88RW-3 ではオーディオ CD 形式をサポートしています。

### Q. ローランド・サンプラー S シリーズ用の CD-ROM (L-CD 701 など) を VS-880 で読み込むことはできますか？

- A. できません。CDR-88RW-3 ではオーディオ CD 形式をサポートしています。

### Q. 1枚のCDをつくるのにどれくらい時間がかかりますか？

- A. ソングの録音時間によります。次の関係を目安にしてください。  
イメージ・データ・ファイル作成 : 実時間のおよそ 2 倍  
CD-R ディスクへの書き込み : 実時間のおよそ半分

### Q. CDR-88RW-3 へ市販のオーディオ CD を入れて再生させたときに、SCSI コネクタを経由しての録音はできますか？

- A. できません。市販の CD プレーヤーをお使いください。

### Q. イメージ・データ・ファイルへの変換中に、誤って VS-880 の電源を切ってしまったのですが？

- A. その CD-R ディスクは使用できなくなります。新しい CD-R ディスクと入れ換え、もう一度「オーディオ CD をつくる」(P.13) の手順にしたがって操作してください。

### Q. CD-R ディスクへの書き込み中に、誤って VS-880 の電源を切ってしまったのですが？

- A. CD-R ディスクには影響ありません。もう一度「オーディオ CD をつくる」(P.13) の手順にしたがって操作してください。ただし、VS-880 のソング・データは、最後にソング・ストアを実行したときの状態に戻ります。

### Q. CDR-88RW-3 でつくったオーディオ CD が、市販の CD プレーヤーで聴けないのですが？

- A. ファイナライズ操作をしてください。(P.15) また、CD-RW ディスクを使用してつくったオーディオ CD は、市販の CD プレーヤーでは再生できません。

### Q. 市販のオーディオ CD を再生できますか？

- A. できます。「書き込んだソングを試聴する(CD プレーヤー機能)」(P.16)をお読みください。

### Q. CD プレーヤー機能のときに、CDR-88RW-3 のヘッドホン・ジャック、あるいはオーディオ・アウト・ジャックから音が鳴らないのですが？

- A. 音声のモニターは VS-880 の MASTEROUT (マスター・アウト) ジャック、または PHONES (フォーンズ) ジャックでおこなってください。CDR-88RW-3 の PHONES (フォーンズ) ジャック、または AUDIOOUT (オーディオ・アウト) ジャックからは音は鳴りません。

### Q. CDR-88RW-3 でつくったオーディオ CD を、DAT レコーダーなどとデジタル接続できますか？

- A. CDR-88RW-3 でつくったオーディオ CD は SCMS に対応しています。したがって、一世代に限りデジタル接続で録音することができます。SCMS についての詳細は「SCMS について」(取扱説明書裏)をお読みください。

## メッセージ一覧

VS-880 のディスプレイに表示されるメッセージの意味は次のとおりです。

### Blank Disc

演奏データが記録されていない CD-R ディスクに対して CD プレーヤー機能を実行しようとしています。市販のオーディオ CD、またはすでに記録済みの CD-R ディスクと入れ替えてください。

### CD-R Finalizing

ファイナライズ操作をしています。しばらくお待ちください。

### CD- R Not Ready !

CD- R ドライブのローディング・トレイが空いていたり、CD-R ディスクが入っていません。CD-R-88RW-3 の準備ができていません。

### CD-R Writing \*\*%

CD-R ディスクにソング・データを書き込んでいます。

### Can't REC CD !

CD-R ライト機能を追加したため、そのままでは CD-R プレーヤーとデジタル接続できません。「デジタル信号を録音するには」(P.7) をお読みください。

### Can't Set Marker

4 秒以内に二つ以上のトラック番号用マーク・ポイントは設定できません。

### Converting \*\*%

ハード・ディスクのソング・データを、CD-R ディスク用のイメージ・データ・ファイルへ変換しています。

### Change Int CLK ?

DIGITAL IN コネクターにデジタル信号が入力されていません。サンプル・レイトの基準クロックを内部クロックに切り換えるかどうかを選んでください。

[YES] を押すと内部クロックに切り換わります。デジタル機器が正しく接続されているか、または相互の機器のサンプル・レイトが合っているかを確認し、もう一度操作してください。

➔ V-XPANDED 取扱説明書 (P.73)

### Complete

操作が正常に終了しました。

### Digital In Lock

サンプル・レイトの基準クロックが、DIGITAL IN コネクターから入力されるデジタル信号に設定されました。デジタル接続で録音ができます。

➔ V-XPANDED 取扱説明書 (P.72)

### DigitalIn Unlock

DIGITAL IN コネクターにデジタル信号が入力されていません。または、ソングに設定されているサンプル・レイトと、DIGITAL IN コネクターに接続されているデジタル機器のサンプル・レイトが異なっています。このままではデジタル接続で録音できません。

➔ V-XPANDED 取扱説明書 (P.73)

### Finalized CD !

市販のオーディオ CD、またはファイナライズされた CD-R ディスクに対して書き込みをしようとしています。空のディスク、またはファイナライズされていないディスクと入れ換えてください。

### Lack of CD-R Mem

CD-R ディスクに、ソングを書き込むだけの十分な空き容量がありません。

### Lack of IDE Mem!

内蔵 IDE ハード・ディスクに、イメージ・データ・ファイルをつくるだけの十分な空き容量がありません。

### No CD-R Drive !

CD-R-88RW-3 が接続されていないか、または電源が入っていません。

### No Data to Write

書き込みの対象として、演奏データが存在しないトラックを選んでみます。

### No Disc

CD-R-88RW-3 にディスクが入っていません。ディスクを入れてください。

### No IDE Drive !

IDE タイプのハード・ディスクが内蔵されていません。ハード・ディスクを内蔵してください。

➔ クイック・スタート (P.2)

### Not 44.1k Song !

ソングのサンプル・レートが 44.1kHz ではないので、CD-R ディスクへの書き込みができません。

### Obey Copyrights?

音楽著作物の複製、放送、販売などに関する許諾条件に同意するかどうかの確認メッセージです。取扱説明書裏の許諾条件をよくお読みください。

### Please Wait...

操作を実行中です。しばらくお待ちください。

### Scanning CD-R

CD-R ドライブを検索しています。しばらくお待ちください。

### TOC Read Error!

CD-R ディスクからの読み出しに失敗しました。CD-R ドライブや CD-R ディスクに異常があります。

### Too Many Marker!

1 枚の CD に設定できるトラック番号数 (98 個) を越えてトラック番号用マーク・ポイントを作成しようとしてしました。

### Write Another ?

ディスクへの書き込みが終了しました。別のディスクへも同じ内容を書き込むかどうかを選んでください。

[YES] または [NO] を押してください。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

## 用語集

### CD-R

Compact Disc Recordable の略です。これは、データの書き込みができる CD のことです。CD-R ディスクには一度だけデータを書き込むことができます。書き込まれたデータは消去したり、移動したりすることはできません。ただし、マルチ・セッションと呼ばれる方法により、CD-R ディスクに空き容量があれば、最大 99 回まで追記できます。

### CD-RW

Compact Disc ReWritable の略です。これは、書き込み・消去ができる CD のことです。一度書き込んだデータを消去して、新たにデータを書き込むことができます。CD-RW ディスクは、約 1000 回の書き込み・消去ができます。

### CD プレーヤー機能

ファイナライズをおこなっていないディスク、または CD-RW ディスクの内容を確認するために、CDR-88RW-3 を CD プレーヤーとして動作させる機能です。音声は VS-880 の MASTER OUT(マスター・アウト)ジャック、または PHONES(フォーンズ)ジャックから出力されます。CDR-88RW-3 の PHONES(フォーンズ)ジャック、または AUDIO OUT(オーディオ・アウト)ジャックからは音は鳴りません。

### IDE

Integrated Device and Electronics の略です。これは、最近のパーソナル・コンピュータで標準のハード・ディスク・ドライブのインターフェースとして採用されているデータ転送の規格です。VS-880 に内蔵できる HDP88 シリーズのハード・ディスク(別売)は、IDE 規格に対応しています。

### S/P DIF

Sony/Philips Digital Interface Format の略です。これは、複数のデジタル機器間でステレオ・デジタル信号を送受信するための規格のことです。VS-880 は S/P DIF に対応したコアクシアル・コネクタを備えています。

### SCMS

Serial Copy Management System の略です。これは、DAT レコーダーや MD レコーダーなどの民生用デジタル・オーディオ機器において、デジタル接続による二世世代以降の録音を禁止し、制作者の著作権を保護する機能です。この機能を持つデジタル・レコーダーにデジタル接続で録音した場合、デジタル・オーディオ信号といっしょに、SCMS のための符号も記録されます。この符号が記録されているデジタル・オーディオ信号からは、再びデジタル接続で録音することができません。

### SCSI

Small Computer System Interface の略です。これは、高速に大量のデータを送受信できるデータ転送の規格です。VS-880 は、SCSI コネクタを標準で装備しているので、ハード・ディスクや Zip ドライブなどの外部 SCSI 機器を接続できます。

最近では、高性能化とソフトウェアの共通コマンドの互換性を強化した SCSI-2 も定められました。VS-880 では、SCSI-2 の規格に対応したハード・ディスクを使用できます。VS-880 で使用できるディスク・ドライブについては、お近くのローランド・サービス、またはお買い上げ店にご相談ください。

### TOC

Table Of Contents の略です。これは、曲の開始時刻、終了時刻、順序などの情報を管理している CD-R ディスク上の領域です。オーディオ CD を CD プレーヤーに入れると、収録曲や演奏時間を表示することができますが、これは自動的にこの TOC が読み込まれるためです。TOC は音楽データとは別に記録されており、瞬時に目的の曲の頭出しができるなどの、ディスク・アクセスの大きな特長をつくりだしています。

### ファイナライズ

作成したオーディオ CD へ TOC を書き込む操作のことです。ファイナライズをおこなっていないディスクへは追記ができますが、そのディスクを一般の CD プレーヤーで再生することはできません。

...MEMO...

## 索引

CD Speed .....	15, 19 ~ 20	SCMS .....	24	トラック・カット .....	11
CD スピード .....	15, 19 ~ 20	SCSI .....	24	トラック・バウンシング .....	9
CD プレーヤー機能 .....	16	TOC .....	24	トラック番号 .....	13
CD-R リカバー機能 .....	19	Track at Once .....	15	トラック番号用マーク・ポイント .....	13
CD-RW		+Verify .....	18	パンチ・アウト .....	6
消去 .....	20			パンチ・イン .....	6
CD-RW ディスク .....	24	オート・ミックス .....	8	ファイナライズ .....	15, 24
CD-R ディスク .....	24	オーバー・ダビング .....	6	+ベリファイ .....	18
CD-R バックアップ .....	18	サンプル・レイト .....	4	メトロノーム .....	4 ~ 5
CD プレーヤー機能 .....	24	ソングの試聴 .....	16	レコーディング・モード .....	4
Disc at Once .....	15	ソングの保存 .....	18		
IDE .....	24	ディスク・アット・ワンス .....	15		
S/P DIF .....	24	トラック・アット・ワンス .....	15		

## 著作権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、公演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音し、配布、販売、貸与、公演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- ローランド VS シリーズおよび CDR-88RW-3 は SCMS を備えていません。これは、著作権を侵害しない作品にまで SCMS による制限を加えないように考慮しているからです。なお、ローランド VS シリーズおよび CDR-88RW-3 を使用することによってあなたが第三者の権利を侵害しても、ローランドは一切その責任を負いません。

## SCMS について

DAT レコーダーや MD レコーダーなどの民生用デジタル・オーディオ機器において、デジタル接続による二世世代以降の録音を禁止し、制作者の著作権を保護する機能です。この機能を持つデジタル・レコーダーにデジタル接続で録音した場合、デジタル・オーディオ信号といっしょに、SCMS のための符号も記録されます。この符号が記録されているデジタル・オーディオ信号からは、再びデジタル接続で録音することができません。

## 許諾条件について

ローランド VS シリーズ、およびその CD-R ライト機能は、あなた自身が著作権を保有している素材、あるいは著作権保有者から複製を許可された素材を複製するために設計されています。したがって、音楽 CD ソフトなど、第三者が権利を有する素材を権利保有者の許可なく複製することは、自分で楽しむことを目的とした使用（私的使用）時以外、著作権法違反となり罰せられます。権利保有者の許諾を得る方法などの詳細は、著作権専門家、専門機関にご相談ください。

## お問い合わせの窓口

商品のお取り扱いに関するお問い合わせは・・・お客様相談センターまでご相談ください。尚、お問い合わせの際には取扱説明書をご用意ください。

**お客様相談センター 受付時間：午前10時～午後5時（土、日曜、祝日および弊社規定の休日を除く）**

< 電話番号 >

**大阪**

TEL (06) 6345-9500

**東京**

TEL (03) 3251-6150

< 住所 >

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 大和堂島ビル7F

修理に関するお問い合わせは・・・商品をお求めの販売店か、保証書に同封されている「サービスの窓口」に記載の営業所、サービス・ステーション、またはサービス・スポットまでご相談ください。

上記窓口の名称、所在地、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

'99 1.20 現在